

TQS

タイテッククオリティシステム

事業目的／経営目標達成・変革

TQSの構築と組織改革を同時に行い TBS/eBRと連動しながら推進することで“変えてはいけない部分”と“変えなければならない部分”を見極めて教育(評価)・業務プロセス・目標・経営に関わる管理体制を『変革』します。

TQSの目的

経営理念を起点としてマネジメントシステムを構築し『ヒト・モノ・カネ・情報』を管理、維持、発展させて事業目的を果たす

経営理念

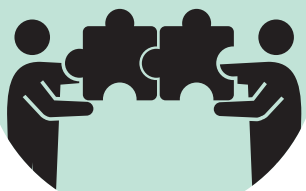
事業目的

経営基本方針

- ▶ 全てがここからはじまり、ここに立ち返ることができる仕組みを構築
- ▶ 『経営計画書』主体で構築を実行(幹部だけではなく全社員が所持・把握)

TQS運用における知っておくべき重要ポイント

『ユーザー直結モノづくり体制』の構築



◀ 経営基本方針(ユーザー直結の開発・サービス型企業、企画に強いタイテック、品質重視のパートナー企業政策)に基づいた体制を構築します。
※ユーザー直結モノづくり方針参照

人材育成型評価制度



◀ TBSと連動した評価制度とeBRなどから、人物・技能・成果・業績を評価していきます。この評価制度は継続的に人材を育成する仕組みであり、人材育成を通して経営目標を達成することを目的としています。

省力化と機能化



◀ 「やりたいこと・やりたくないこと」ではなく、「やれること・やれないこと」をハッキリさせ、『やれることをやる』これを勇気を持って断行し機能させていきます。

再生・立て直しから創生へ



◀ TBSで“いちに「人物」について「技能」「努力」を学び、TQSの運用で、「タイテックブランドで学術と産業に貢献」を果たします。歩みを止めず、再生・立て直しを図り、次なる創生へと繋げていきます。